



すぎもと たいへい 杉本 太平 議員が 府民文化常任委員会で質問

杉本太平議員（和泉市選出）は、10月14日、20日に開かれた府民文化常任委員会において、自治会の現状と地域社会の活性化やグローバル人材の育成などについて質問しました。

〈杉本 太平〉
すぎもと たいへい

昭和51年生まれ。現在1期目。府民文化常任委員会委員、自民党府連青年部長。税理士、行政書士。自衛隊協力会役員。元和泉青年会議所理事長。元アムフ関西代表。家族：妻、4人娘。和泉市立池上小、浪速中・高、大産大、札幌大院卒。
【事務所】和泉市伯太町2-3-27 ☎0725-44-0500

平成26年度9月議会

府民文化常任委員会での質問項目

- おおさかカンヴァス事業の府内展開
- 都市魅力づくりに関する負担金方式の透明性確保
- 消費者行政の充実強化
- 自治会の現状と地域社会の活性化
- グローバル人材の育成

知事が先頭に立って 自治会の加入を 促進すべき

Q. 杉本議員

府内の自治会の現状は、役員の担い手不足や高齢化、加入率の低下などの課題を抱えている。大阪府は府民協働を唱えるが府職員が自治会に未加入では府民の理解が得られない。そこで職員の自治会加入を義務づける条例の制定や加入促進を図る号令を出すべきでないか。

A. 知事

自治会の加入は個人の意思に関わる問題で条例化にはなじまない。しかしながら、府職員が自治会・ボランティア・NPOなどを通じて地域貢献に取り組むことは意義がある。地域活動に関心を持ってもらうよう庁内にどのように働きかけができるのか府民協働を担っている府民文化部長に検討を指示する。

グローバル人材の 育成事業の 更なる充実を

Q. 杉本議員

大阪の高校生がネイティブの英語に触れて英語や海外留学に興味を持てる機会をもっと増やすべき。現在行っているグローバル体験プログラムの定員をもっと拡大していくべき。

A. 国際課長

生徒たちが海外や英語学習への興味を持つのに大変効果的であり、グローバル体験プログラムの定員が拡大できないか検討を行っていく。

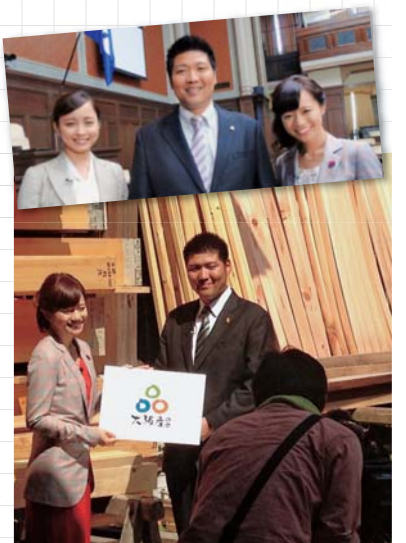
（※グローバル体験プログラムとは海外のホテルや空港、大学キャンパスなどを再現した模擬施設を利用して英語による実践的な体験学習を行う事業。平成24度・25年度の2年間で、2,704名の高校生が参加。）

読売テレビ

「府議会広報番組」に出演!

現在、府議会広報テレビ「みらいを教える!大阪府議会」が放送されています。番組では、ナビゲーターの斉藤雪乃さんや武田訓佳さんと府議が大阪府議会の取り組みや活動を紹介します。第5回11月9日放送分「農林水産業の振興」に杉本議員が出演します。大阪府・和泉市の農林業の活性化に力を注ぐ杉本議員の強い希望で、和泉市でロケが行われました。

読売テレビ11月9日(日)
午後5時25分(笑点の前)



「障がい者製品の ブランド化」が実現

障がい者製品の愛称・ロゴが決定!

平成25年9月議会において杉本議員が提案した「障がい者が生産する製品のブランド化」。この度、ロゴマークと愛称「こさえたん Cosaetan」が決まりました。これにより障がい者が生産する製品の認知度向上や障がい者の賃金向上を図っていきます。

